

# 継続教育受講記録管理の手引き

平成 15 年 4 月 1 日  
社団法人 電気学会

- 1) 受講者は自ら「継続教育受講記録」を作成し集積管理するため、「継続教育記録用紙」を電気学会のホームページからダウンロードします。  
URL: <http://www.iee.or.jp>
- 2) 電気学会が実施する各種継続教育に参加した場合は、その受講内容(受講日, 受講時間, CPD 単位, 受講内容など)を受講者自身が「継続教育記録用紙」に記録し、その現場に居られる主催者側の講師や取り纏めから「受講証明」として「サイン」, 又は「押印」を受領し、その「記録簿」を自己管理する。学会はそれを基に、必要に応じて有料でその証明を行います。  
担当: 社団法人 電気学会 総務課 TEL03 - 3221 - 7312 / FAX03 - 3221 - 3704  
e-mail: [kanri@iee.or.jp](mailto:kanri@iee.or.jp)

## 継続教育記録簿(例)

「継続教育記録用紙」は、電気技術者が自己の能力の維持・向上を計画的に進めるために、継続教育の証(あかし)として、種々の教育機会を利用して学習した内容を記録にとどめ、それを学習の軌跡として自己管理することに役立てていただくことを目的に作られています。

## 継続教育記録用紙の入手方法

「継続教育記録用紙」は、ホームページからダウンロードして下さい。

「継続教育記録用紙」への記入にあたっては、次の記載例及び記入上の留意事項を参照して下さい。

## 記録簿への記載例

主催者名 教育内容(簡潔に記入)	開始年月日 終了年月日	教育分野 及び形態	実時間(hr)	時間重み 係数	CPD 単位 ×	証明印
電気学会東京支部 〇〇〇の最新技術 講習会参加	2001.6.20	B - 1	3hr	1	3	
電気学会全国大会参加 〇〇〇セッション	2002.3.27	B - 1	3hr	1	3	
電気学会全国大会 〇〇〇に関する研究 口頭発表	2002.3.29	B - 2			2	

( 電気学会全国大会参加のような場合は、セッション毎に記入する )

## 「継続教育記録用紙」記入上の留意事項：

主催者名と教育内容は簡潔に記入して下さい。ただし、主催者が本会の場合には、主催者名を省略することができます。

年月日は、複数日に亘る場合には、1 日毎または半日毎に記入して下さい。

実時間(hr)は、実際の所要時間(休憩時間を除く)を記入して下さい。

教育分野及び形態の記入は、【教育分野】(「4 . 継続教育分野と内容」を参照して下さい。)及び【教育形態】(「5 . 教育形態と CPD 単位」を参照して下さい。)からもっとも近いものを選んで、【教育分野】の記号と【教育形態】の番号を「記号 - 番号」のように並べて記入して下さい。

CPD 単位は、CPD 単位表の【教育形態】記載の方法に従って算出して下さい。なお、「時間重み係数に時間 H(hour)を乗じて求める際には、計算結果を四捨五入し少数一位止めした値を記入して下さい。なお CPD 単位については、「5 . 教育形態と CPD 単位」を参照して下さい。